

令和 2 年度（2020 年度）第 2 次豊中市 D V 対策基本計画年次報告書（案）（概要版）

◆本報告書の趣旨◆

本書は、第 2 次豊中市 D V 対策基本計画において、令和 2 年度（2020 年度）中に各課・各機関で取り組んだ DV 被害者支援の実施状況について、取りまとめたものです。

◆第 2 次豊中市 D V 対策基本計画の位置づけ◆

第 2 次豊中市 D V 対策基本計画は、配偶者暴力防止法第 2 条の 3 第 3 項に基づく、豊中市の「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護のための施策に関する基本的な計画」です。

また、豊中市男女共同参画推進条例第 9 条に基づく、「第 2 次豊中市男女共同参画計画改定版」と整合するものです。

◆第 2 次豊中市 D V 対策基本計画の期間◆

平成 29 年度(2017 年度) から令和 3 年度(2021 年度) までの 5 年間です。

5 つ の 基 本 的 方 向

1 D V を許さない社会づくり

主な実施状況

11 月の「女性に対する暴力をなくす運動」期間中（12 日～25 日）には、市役所第一庁舎・第二庁舎にてパネルの展示に加え、文化芸術センターにて同運動のシンボルカラーである紫色のライトアップ、啓発用マグネットの公用車への貼付を行いました。

すてっぷでは、コロナ禍における DV 被害の増加に伴い、「DV とは何か」「暴力の種類」など連作パネルを展示、ガールズ相談 WEEK の開催、11 月の「女性に対する暴力をなくす運動」期間には DV パネルを展示し啓発を行いました。また「暴力に NO ! 」という思いを込めたパープルリボンをツリーに飾りました。

課題・今後の方向性

新型コロナウイルス感染症拡大により、DV 被害の件数が全国的に増加しています。今後も講座や研修等様々な手法で啓発事業に取り組み、若年層を含めた幅広い世代への暴力を許さない意識を醸成に努めていくとともに、関係機関との協力連携を強化していきます。

2 安心して相談できる体制づくり

主な実施状況

令和 2 年度における配偶者暴力相談支援センターにおける DV に該当する相談件数は 835 件、すてっぷ相談室を合わせた相談件数は 1,004 件でした。コロナ禍の影響もあり DV の相談件数は年々増加傾向にあります。

すてっぷでは相談員の資質向上のため、年 2 回のスーパーバイズ研修を行い、相談員の資質向上を図りました。

課題・今後の方向性

新型コロナウイルスに伴う外出自粛や休業が行われる中、生活不安やストレスにより増加・深刻化傾向にある DV 被害に対応するため、支援を必要としている被害者が適切に相談窓口の利用に繋がることできるよう、今後も幅広く相談窓口の周知を図っていきます。

3 緊急時における安全の確保

主な実施状況

被害者の状況に応じて、大阪府や警察及び関係機関と連携しつつ、必要に応じて同行支援や出張相談を行い、一時保護につなぎました。

救急救命課では救急活動時において、DV による負傷が疑われる傷病者等へ D V 相談案内カードの配布を行い、職員間において事案にかかる情報共有を徹底し、市担当部局及び警察への連絡を行いました。

課題・今後の方向性

緊急時において、被害者が安全かつ円滑に保護が受けられるよう、大阪府や警察等関係機関と、連絡体制や加害者からの追跡等に対応するため情報共有と情報管理を徹底し、さらなる支援体制の整備を図っていきます。

4 自立支援の充実

主な実施状況

DV やストーカー行為等の被害者などの住民基本台帳の閲覧制限に関して、被害者に関する情報管理の徹底を図りながら意見付与を行い、必要に応じて関係機関と連携しました。

すてっぷでは、豊中市配偶者暴力相談支援センターと円滑な連携に取り組んだほか、平日夜間や土曜日も相談しやすいように相談時間を設定しています。

こども相談課ではこども総合相談窓口・こども専用フリーダイヤルの電話受付を 365 日 24 時間実施し、子どもと家庭にかかわる様々な相談を受け、面前 DV 等により被害を受けた子どもへの支援も行っています。

課題・今後の方向性

被害者が自立し、生活を再建していくため、関係機関との連携を強化し、多角的な支援体制の整備を図っていきます。また、高齢者、障害者、外国人の方などそれぞれの状況に配慮し、関係機関や団体との連携に努めます。

5 関係機関・民間団体等との連携・協力

主な実施状況

豊中市 DV 防止ネットワーク会議を開催し、豊中市配偶者暴力相談支援センターの周知を行った他、各担当者間で DV 支援の対応項目ごとの各部局が担っている支援内容をもとに、より良い支援のあり方を考える機会を持ちました。

DV 防止ネットワーク会議・実務担当者会議合同研修会において、「D V 被害者への支援について」をテーマに外部講師による講演会を動画配信しました。

課題・今後の方向性

今後も引き続き、豊中市配偶者暴力相談支援センターの周知を行いつつ、各部局が担っている支援内容の情報共有のため、DV 支援の対応項目ごとの情報の整理を行います。庁内外問わず様々な機関と広く連携し、被害者支援を円滑に行えるよう関係構築に努めていきます。

また、多くの職員が参加し、より効果的な研修となるよう、開催時期や研修内容の検討を行います。